

各 位

上場会社名 AOCホールディングス株式会社  
 代表者 取締役社長 関屋 文雄  
 (コード番号 5017)  
 問合せ先責任者 IR・広報部長 菊池 一夫  
 (TEL 03-5463-5065)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	470,000	10,000	9,500	5,000
今回発表予想(B)	653,000	20,500	21,500	12,500
増減額(B-A)	183,000	10,500	12,000	7,500
増減率(%)	38.9	105.0	126.3	150.0
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	427,802	12,020	12,423	7,212

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	930,000	15,500	16,500	9,500
今回発表予想(B)	1,263,000	25,500	27,000	16,000
増減額(B-A)	333,000	10,000	10,500	6,500
増減率(%)	35.8	64.5	63.6	68.4
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	930,738	13,954	11,543	4,665

### 修正の理由

前回予想時(平成20年5月15日)以降の原油価格の動向等を踏まえ、第2四半期連結累計期間及び通期の業績見通しを修正いたします。  
 なお、今回の修正見通しでは、通期平均で原油価格(ドバイ原油)115ドル/バレル(前回同80ドル/バレル)、為替レート105円/ドル(前回と同じ)をそれぞれ前提といたしました。

その結果、売上高、営業利益、経常利益、純利益ともそれぞれ増加する見通しではありますが、収益面では、下流部門における期首安値在庫の売上原価低減効果の拡大と上流部門における原油価格上昇に伴う増益により、第2四半期連結累計期間においては大幅な改善を見込むものの、下期については、同効果が上期に比して大きく縮小すること、また石油製品市況に先行き不透明感があることなど、厳しい状況を見込んでおります。

具体的には、第2四半期連結累計期間については、売上高6,530億円、営業利益205億円、経常利益215億円、四半期純利益125億円に、通期については、売上高1兆2,630億円、営業利益255億円、経常利益270億円、当期純利益160億円にそれぞれ修正いたします。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上